



2023年3月1日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証グロース)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

当社子会社の(株)安評センターにおける 久留米モダリティ分析センター (仮称) 開設に関するお知らせ

当社子会社の株式会社安評センター (代表取締役 福永健司、静岡県磐田市、以下、安評センター) は、2023年3月1日開催の取締役会において、以下のとおり株式会社久留米リサーチ・パークが運営する福岡バイオファクトリー内に分析サービス拡充を目的に「久留米モダリティ分析センター (仮称)」(以下、分析センター) を開設することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 分析センター設立の経緯

当社グループの創薬支援事業が取り組む領域においては、創薬基盤技術の進化により、低分子医薬品だけでなく抗体、核酸、遺伝子治療用ウイルスベクターや抗体薬物複合体などの様々な医薬品が創出されています。そして、創薬モダリティ^{*1}を用いた医薬品開発が世界的なトレンドとなり、コロナワクチンが極めて短期間に実用化に至ったことが注目されています。このため、当社グループは、既存の分析技術では対応が難しい、これからの創薬モダリティに対応可能な分析機器や分析技術の導入・開発が必須であると考えております。

これらを背景に、当社グループは、福岡バイオファクトリー内に当社グループの創薬モダリティに対応可能な分析技術開発拠点として「久留米モダリティ分析センター」を開設することにいたしました。

当社は、本分析センター開設により、既に包括業務提携を締結している一般社団法人福岡疾病予防管理センター (F-CDC) と (『一般社団法人福岡疾病予防管理センター (F-CDC) との包括業務提携契約の締結及びF-CDC への基金拠出に関するお知らせ』2023年2月22日付リリース) と共に、福岡バイオコミュニティ^{*2}内のバイオネットワークの強化を推進します。

今後、分析センターでは、低分子、抗体、核酸、抗薬物抗体等各種モダリティの分析方法の開発及び、それらの製薬企業への提案、並びにその分析方法を用いた医薬品等の分析検査受託サービスを展開し、既存サービスの付加価値を高め、事業拡大及び企業価値向上を図ってまいります。

2. 分析センター概要

- (1) 名 称 : 久留米モダリティ分析センター (仮称)
- (2) 所在地 : 福岡県久留米市合川町 1488-4 福岡バイオファクトリー内
- (3) 開設日 : 2023年4月1日(予定)

3. 今後の見通し

本件による2023年3月期及び2024年3月期の連結業績に与える影響は軽微ですが、CRO事業の拡充を通じて創薬支援事業領域の拡大を図り、中長期的な企業価値最大化に向けて取り組んでまいります。

今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

◆ご参考

※1 モダリティ

モダリティとは、低分子化合物、ペプチド（中分子）薬、抗体医薬を含む蛋白質医薬、核酸医薬、細胞医薬、再生医療といった治療手段（創薬技術・手段）のことです。

※2 福岡バイオコミュニティ (<https://www.fbv.fukuoka.jp/>)

国（内閣府）の「バイオ戦略」に基づくバイオ関連市場の拡大に向けた施策である「地域バイオコミュニティ」の第1号として、福岡が2021年6月に認定されました。バイオコミュニティは、バイオビジネスに関係する国内外から人材・投資を呼び込み、各市場領域における製品・サービスの提供体制を強化し、世界市場に進出することを目標に活動を進めています。当社とF-CDCもその会員企業として活動しております。

以 上